

第8回歯科再生医療推進ネットワーク協議会議事要旨

1. 日時:2023年2月1日(水)15:00~16:15
2. 開催方法:オンライン(Zoom)
3. 出席者(敬称略):

歯科基礎医学会(大島勇人)、日本歯科保存学会(高柴正悟)、日本補綴歯科学会(大川博子)、日本歯科理工学会(岸田晶夫)、日本歯周病学会(小方頼昌)、日本口腔インプラント学会(馬場俊輔)、日本臨床口腔病理学会(前田初彦)、日本レーザー歯学会(横瀬敏志)、日本顎顔面補綴学会(松山美和)、日本顎顔面インプラント学会(城戸寛史)、日本口腔腫瘍学会(光藤健司)、日本再生歯科医学会(今井弘一)、東京形成歯科研究会(奥寺 元)、国公立大学歯科臨床研究推進会議(柿本直也)、日本再生医療学会(大島勇人、江副幸子、飛田護邦、眞野恭輔、石清水千鶴、関根香里奈、小幡 毅)

欠席(日本歯科医史学会、日本歯科医療管理学会、日本歯科薬物療法学会、日本接着歯学会、日本歯内療法学会、日本口腔リハビリテーション学会、日本口腔顔面痛学会、日本歯科医学会)

未回答(日本口腔外科学会、日本口腔感染症学会、日本有病者歯科医療学会、日本歯科心身医学会、日本顎変形症学会、日本小児口腔外科学会、日本外傷歯学会、日本口腔科学会、バイオインテグレーション学会)

4. 報告事項

- 1) 各学会等の出席者から自己紹介があった。
- 2) 眞野恭輔事務局長(日本再生医療学会)より、資料1に基づき再生医療ナショナルコンソーシアム事業について説明があった。これまで限られた機関でしか実施されてこなかった再生医療等臨床研究の経験・技術・臨床データを多くの機関で共有することを目的に、臨床研究支援モジュール、人材育成モジュール、再生医療等データベースモジュール、産学マッチングモジュール、患者・市民参画モジュールで運用。さらに、再生医療等の国際展開、適正性評価体制の構築も行う。臨床研究支援では、支援受け入れ33件で目標達成(10件)。教育パッケージでは臨床研究監査も実施予定。人材育成では、新たに施設管理士の教育プログラム支援、細胞保管に対する考え方策定を実施。産学連携支援では、知財セミナー、知財・技術座談会、テクノオークションを実施。患者・市民への再生医療の情報発信では、中高生向けイベント、リスクコミュニケーション、再生医療ポータル開設を実施。国際展開では、国際的コンセンサスを醸成。NRMDについてはPMDAと共同で開発。NRMDの歯科再生医療の活用について質問があり、PRPの評価が想定されるが、歯科クリニックの入力をどうするかが問題で、財源がないとできないとの説明があった。
- 3) 江副幸子幹事(日本再生医療学会)より、資料2に基づき人材育成について説明があった。教科書、ビデオコンテンツを作成。再生医療認定医、臨床培養士、上級臨床培養士、細胞培養加工施設管理士の認定制度、臨床研究教育セミナーを実施。認定再生医療等委員会の審査のガイドラインの作成。第三種における技術指導員について質問があり、認定再生医療等委員会において、技術が必要か判断する際に、上級臨床培養士も加味することが可能との回答があった。再生医療認定医の合格基準について質問があり、審査基準・合格者数について回答があった。
- 4) 飛田護邦幹事(日本再生医療学会)より、資料3に基づき認定再生医療等委員会における審査の質向上事業について説明があった。令和元年・2年度事業について、事業の参加者、事業体制(元年度:実態調査班、制度検証班、標準化検討班;2年度:調査・分析班、普及・啓発班、標準化検討班、利益相反整備班、制度検証班)について説明があった。認定再生医療等委員会の審査の視点(治療用/第三種 がん免疫細胞治療用/研究用)について審査のポイントをまとめているが、それぞれでポイント

が違ってくると説明があり、公開資料閲覧の依頼があった。

- 5) 小幡 毅室長(日本再生医療学会補償保険制度室)より、資料 4 に基づき再生医療サポート保険について説明があった。再生医療等安全確保法において、健康被害の補償の方法に関する事項を定める様に規定されている。賠償責任がない場合でも補償される。臨床研究と自由診療を提供するが、自由診療の保険は学会員に提供している。本保険に加入すると医師賠償保険については二重になること等の問題点の指摘があったが、保険制度は今後も見直すこと、医師賠償保険の免責金額以下のところで金額を設定することでもれなくカバーできるとの説明があった。
- 6) 大島勇人理事長補佐(日本再生医療学会)より、資料 5 に基づき歯科再生医療推進ネットワーク協議会ホームページの公開について報告があった。日本再生医療学会のホームページの「本会について」→「歯科再生医療推進ネットワーク協議会」でページが開く。参加学会リンク、会則、過去の協議会の議事要旨が閲覧できる。
- 7) 大島勇人理事長補佐(日本再生医療学会)より、資料 6 に基づき歯科再生医療推進ネットワーク協議会主催シンポジウムについて説明があった。第 22 回日本再生医療学会総会が 3 月 23～25 日に国立京都国際会館で開催されるが、シンポジウム 5「研究者と企業との連携による歯科再生医療の臨床応用に向けた取り組み」(座長:大島勇人、飛田護邦;演者:高橋 克、中島美砂子、永田昌毅、志水秀郎、飛田護邦)を歯科再生医療推進ネットワーク協議会主催シンポジウムとして企画している。また、各学会での再生医療教育企画には日本再生医療学会から情報を提供できるので、必要に応じて協議会に連絡して欲しいとの依頼があった。